

第1回 愛知県 在宅医療連携拠点推進事業 中間報告会  
愛知県庁 自治研修所7階大教室  
平成26年4月17日(木)

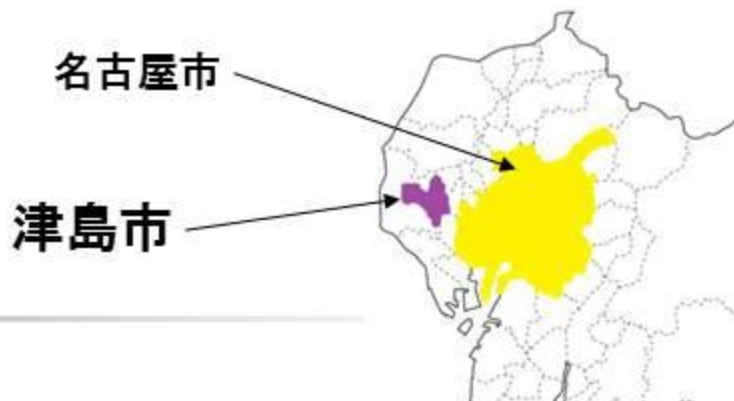


# 津島市 在宅医療連携拠点推進事業 中間報告会

津島市健康福祉部高齢介護課 長寿福祉グループ  
医療相談員 福谷 大助

# 津島市は こんなまち

## 津島市の概要



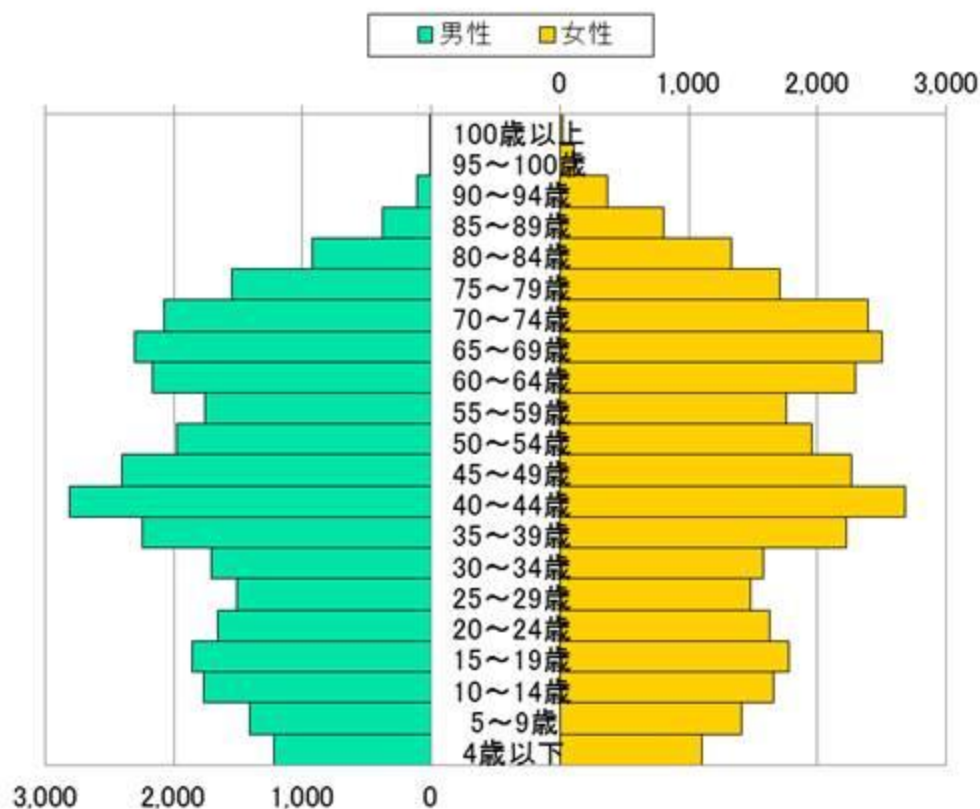
面積：25.08km<sup>2</sup>

人口：64,920人

世帯数：25,567世帯  
(H26年3月31日)

高齢化率：25.6%  
(H26年3月31日)

人口ピラミッド(H26.4.1現在)



# 津島市は こんなまち

## 津島市の社会資源

## 医療機関

平成26年4月1日時点

津島市医師会 41

津島市歯科医師会 34

津島海部薬剤師会 34

訪問看護ステーション 1

津島市民病院 440床（回復期・緩和ケア）19診療科

療養型病院 2 回復期リハ病院 1

在宅療養支援 ・ 診療所 4 ・ 病院 0 ・ 歯科診療所 0

# 津島市は こんなまち

## 津島市の社会資源

## 介護サービス事業所

平成26年4月1日時点

居宅介護支援事業所	21	福祉用具貸与	3
地域包括支援センター	3	特定施設入居者生活介護	2
訪問介護	14	小規模多機能型居宅介護	1
訪問入浴介護	1	認知症対応型共同生活介護	3
訪問リハビリテーション	2	介護老人福祉施設	3
訪問看護	1	介護老人保健施設	5
通所介護	23	介護療養型医療施設	2
通所リハビリテーション	8	住宅型有料老人ホーム	4
短期入所生活介護	5	サービス付き高齢者向け住宅	1
短期入所療養介護	7	養護老人ホーム	1




# 津島市在宅医療 資源マップ

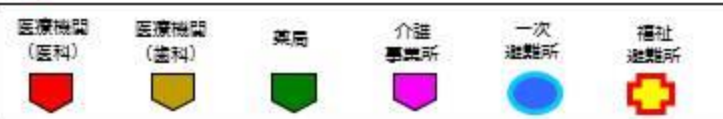
- \* 医科 41件  
(総合病院1件含む)
- \* 歯科 34件
- \* 薬局 34件
- \* 訪問看護S 1件
- \* 介護事業所105件  
(包括3、居宅22、訪問介護14、DS23、DC8、SS12(生活5、療養7)、福祉用具3、訪問入浴1、訪問リハ2、特定施設2、GH3、小規模多機能1、特養3、老健6、介護療養型2)

## 【災害時】

- ・一次避難所 8か所
- ・福祉避難所 11か所

 : 訪問看護ステーション

 : 市民病院



\* □型内に数字がある場合は、1カ所に複数(居宅・訪問・デイなど)の事業所があることを示す。但し、避難所内の図形内の数字は、避難所の番号を示す。

- ・医科6件  
(内科・外科系4件)
- ・歯科6件
- ・薬局3件
- ・介護事業所2件

- ・総合病院1件
- ・医科11件(内科2件)
- ・歯科9件
- ・訪問看護S1件
- ・薬局10件
- ・介護事業所24件

- ・医科2件  
(内科1件)
- ・歯科4件
- ・薬局2件
- ・介護事業所16件

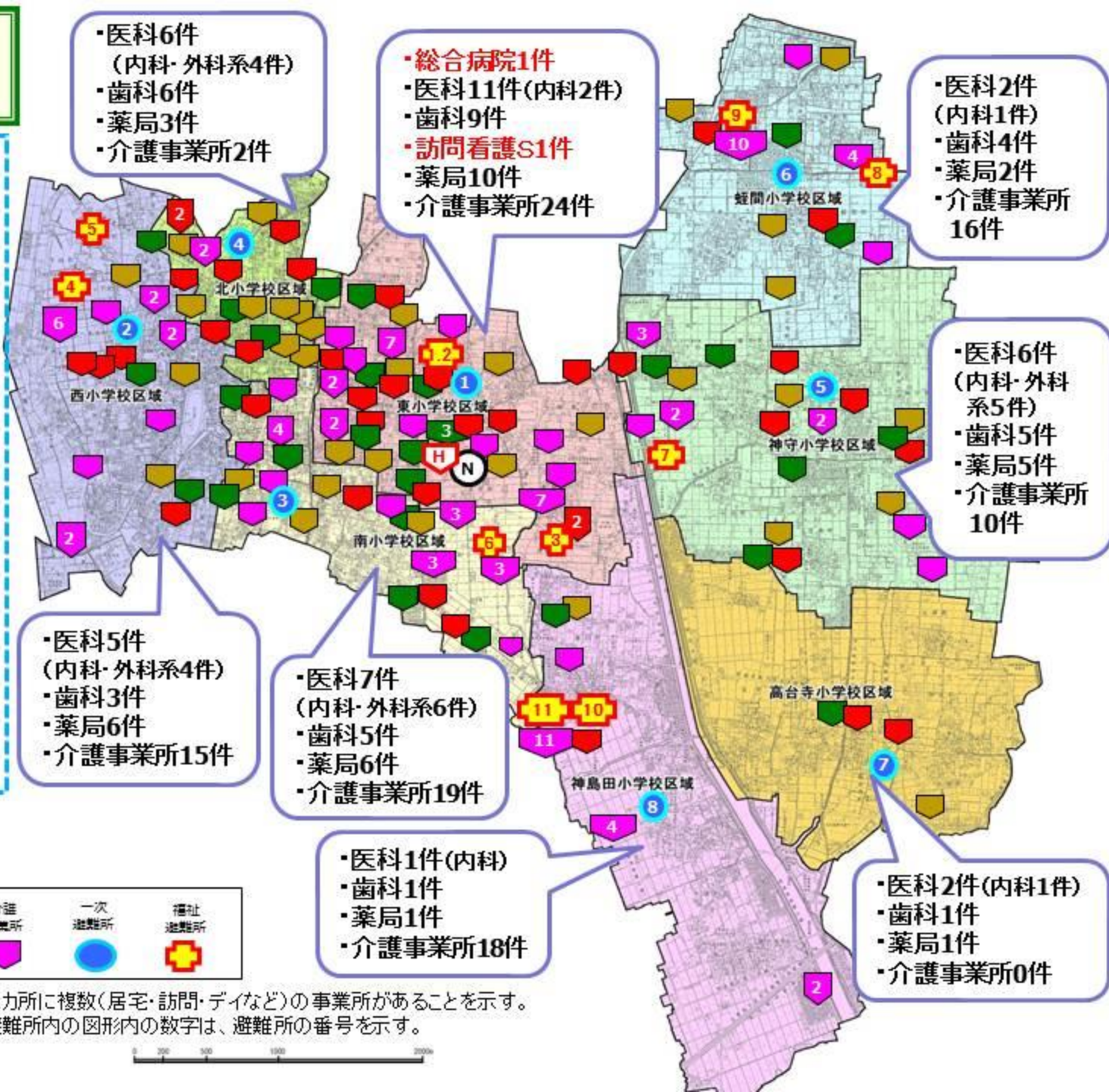
- ・医科6件  
(内科・外科系5件)
- ・歯科5件
- ・薬局5件
- ・介護事業所10件

- ・医科5件  
(内科・外科系4件)
- ・歯科3件
- ・薬局6件
- ・介護事業所15件

- ・医科7件  
(内科・外科系6件)
- ・歯科5件
- ・薬局6件
- ・介護事業所19件

- ・医科1件(内科)
- ・歯科1件
- ・薬局1件
- ・介護事業所18件

- ・医科2件(内科1件)
- ・歯科1件
- ・薬局1件
- ・介護事業所0件





## 「地域包括ケアシステム」の確立に向けて

在宅医療・介護の連携推進だけではない

住まい・医療・介護・予防・生活支援が  
一体的に提供される仕組み  
「地域包括ケアシステム」の構築を実現



市町村が主体となって取り組む

地域包括ケアの確立 = 市町村の「まちづくり」

行政・医療機関・介護事業所・地域住民の「つながり」が不可欠!!

(1) 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討

医療・介護・地域の代表が一堂に会する「場」

津島市在宅医療連携推進協議会

(2013年4月設立 年4回開催)

住み慣れた家庭や地域で、在宅療養が続けられるよう、市民と共に在宅医療を推進する

- ・ 医師会
- ・ 歯科医師会
- ・ 薬剤師会
- ・ 市民病院
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 居宅介護支援事業者連絡協議会
- ・ 津島市
- ・ 保健所
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 訪問介護事業者連絡協議会
- ・ 民生児童委員協議会
- ・ 老人クラブ連合会
- ・ コミュニティ推進協議会

## (1) 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討

### 専門部会 ワーキンググループ

#### 津島市在宅医療連携推進協議会の専門部会 ワーキンググループの設置

つながろまい津島 ICTワーキング 2013年10月～（年6回程）

- ・三師会 ・津島市民病院 ・訪問看護ステーション ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業者連絡協議会 ・津島市

地域支え合いワーキング 2014年2月～（年4回程）

- ・社会福祉協議会 ・地域包括支援センター ・民生児童委員協議会
- ・老人クラブ連合会 ・コミュニティ推進協議会 ・津島市 ・保健センター

在宅医療支援病床ワーキング 2014年2月～（年3回程）

- ・医師会 ・津島市民病院 ・訪問看護ステーション
- ・居宅介護支援事業者連絡協議会 ・津島市



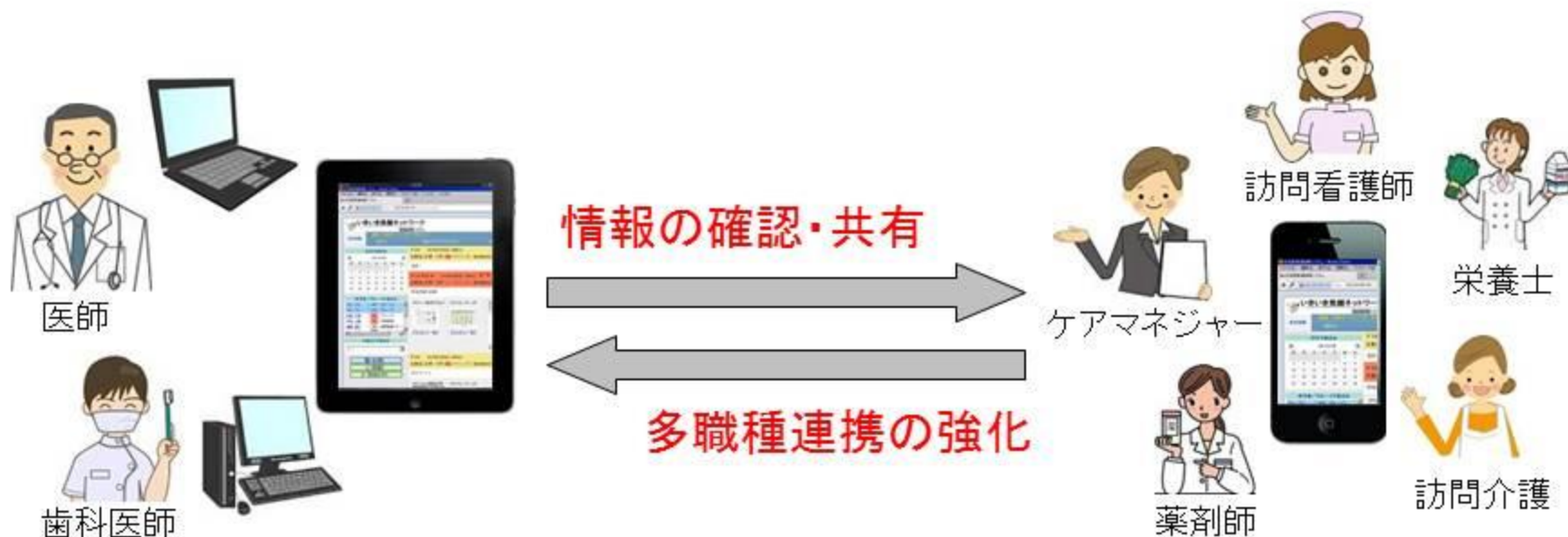
- (2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援
- (3) 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携

## 多職種による情報共有ツール

- ・ 電子@連絡帳システム（2013年10月～）  
多職種が、患者情報をリアルタイムに共有でき、連携が円滑にできる。
- ・ 「つながろまい津島」ICTワーキング（2014年1月・3月）  
電子@連絡帳システムの運用・周知方法、課題等を協議。

### 課題

市内の医療機関・介護事業所への普及促進。導入説明会の開催を検討。



## (4) 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み

### 在宅医療支援病床（2013年7月～）

#### ・在宅医療支援病床ワーキング（2014年2月）

運用しての現状と課題を明らかにし、解決策の検討を行う。市民病院による、主治医をバックアップする仕組みを検討する。



#### 課題

関係職種への周知・受入れ患者の拡大・退院前カンファレンスの徹底。

#### 支援病床 利用の流れ

かかりつけ医と患者の事前登録



訪問診療を受けている患者で、かかりつけ医が入院が必要と判断



在宅医療支援病床による入院



退院前カンファレンスの実施



退院後は、自宅で在宅療養を継続

平成26年4月1日時点  
登録医療機関 26件  
登録患者 25人  
病床利用者 6人

かかりつけ医と市民病院の連携

在宅医療従事者  
家族の負担軽減

在宅医療従事者  
市民病院の連携

#### 社会実験 としての取組み

津島市民病院は、地域における基幹的な急性期病院であるが、今後の地域医療の重要性を考え、**地域と急性期病院との新しい連携のモデル**となるよう、社会実験として在宅医療支援病床の運用を開始。



## (5) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

### 地域毎で支える仕組みの構築

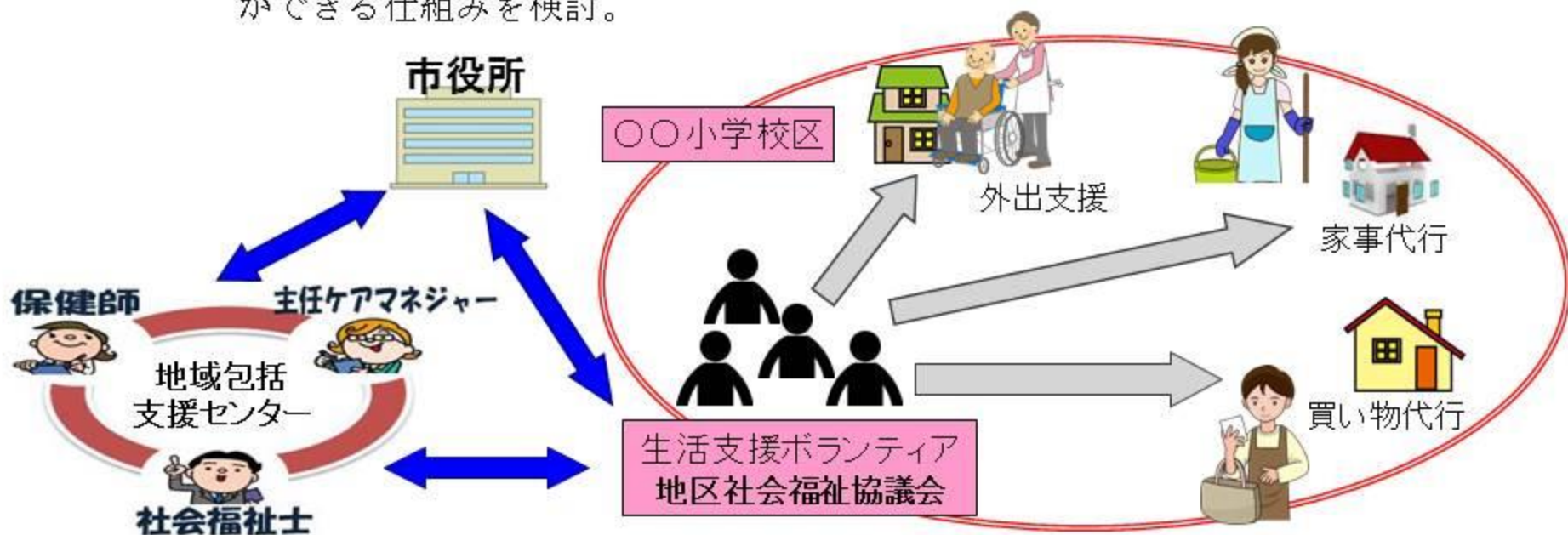
#### ・ 地域支え合いワーキング（2014年2月）

住民自らが主体的な活動を始められることができる環境を創っていくため、行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・地域住民代表で組織し、方策や課題を協議する。

#### 課題

在宅医療、地域包括ケアシステムの確立には、地域住民が共に助け合う関係の構築が必要。

配食支援・外出支援・買い物代行・家事代行・見守り支援などのボランティアを育成し、医療・介護サービスでは対応できない部分を補うことができる仕組みを検討。



# ロードマップ タスク1~5

平成25~26年度 事業スケジュール(★印は、他事業と連携)

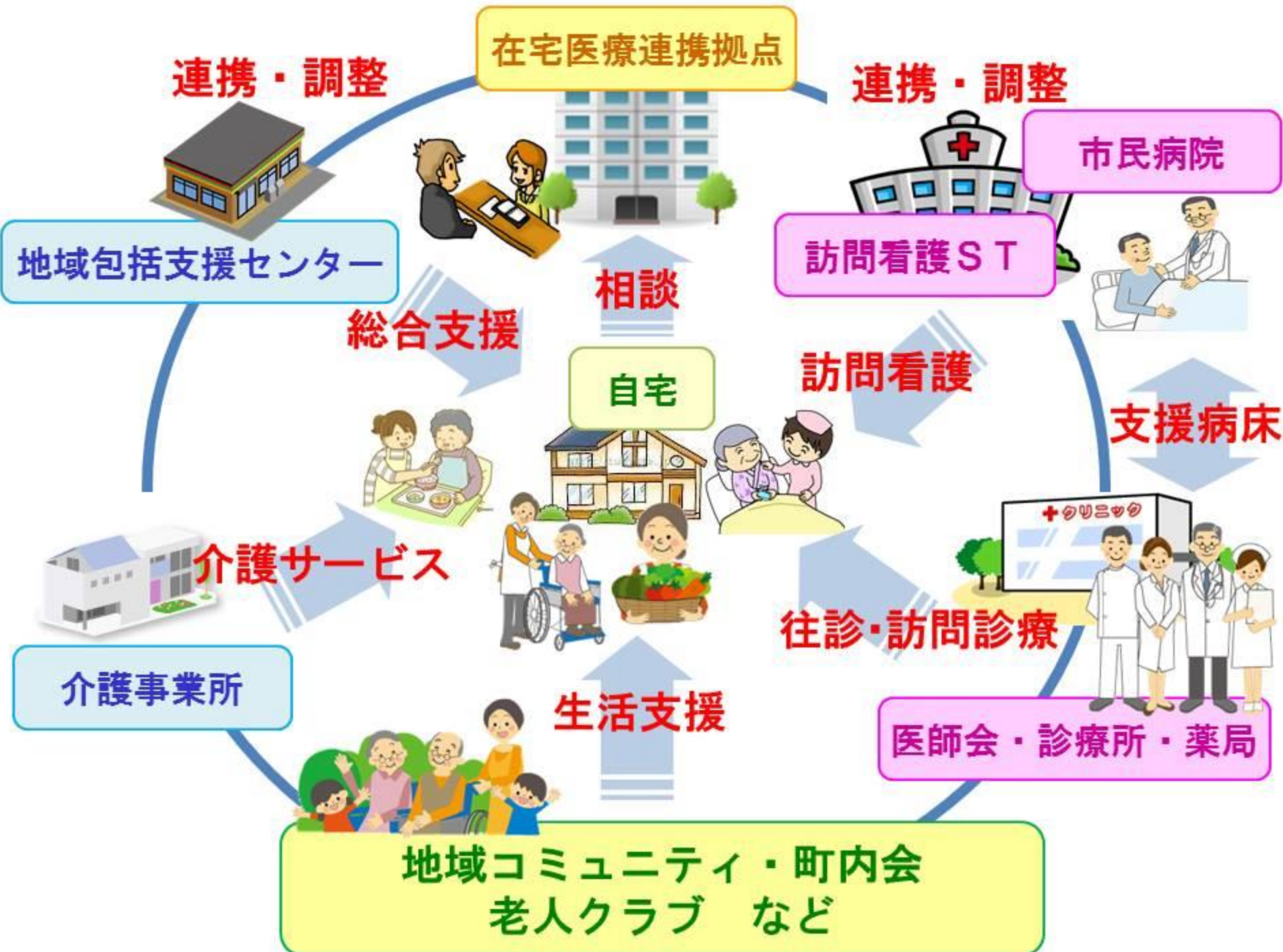
事業項目		平成25年度		平成26年度						
		第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
		1月~3月		4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月			
抽出と解決策の課題の検討	★津島市医歯薬介護連携推進協議会(年4回)	●	●	●			●	●	●	
	★地域連携フォーラム(年1回)						●			
	★多職種による事例検討会(年3回)		●		●	●			●	
	津島市在宅医療連携推進協議会(年4回)		●	●	●	●	●	●	●	
	「つながるまい津島ICTWG開催(年6回)」	●	●	●	●	●	●	●	●	
	地域支え合いWG開催(年4回)	●		●	●	●		●	●	
	在宅医療支援病床WG開催(年2回)		●		●				●	
在宅医療従事者の支援	在宅医療総合相談窓口の継続と周知	随時相談		HP掲載		広報掲載			評価	
	衛星携帯電話の設置継続	定期的な充電		衛星携帯電話一覧表作成・配布		防災訓練で試用				
	医科歯科連携システム構築	WGで連携方法の検討		連携手順作成・運用		地域連携パスの検討		往診機材の整備と検討		
	津島市民病院によるバックアップ	WGで協議・検討		WGで協議・検討		バックアップ体制の構築				
	夜間・緊急時に対応するサービス提供	夜間対応型・定期巡回随時対応型訪問介護事業所募集		26年度の開設に向けて準備・調整						
診療所間同士の連携			WGで協議・検討		WGで協議・検討			WGで協議・検討		
提供の高い、職種連携の医療	★地域ケア会議(年3回)(事例検討会含む)		●		●	●		●		
	電子連絡帳システムの運用と普及啓発	WGで現状報告		利用事例拡大		かかりつけ医拡大		拡大に向け、随時協議・検討		本格導入の検討
	在宅医療従事者実務研修(年4回)	●	●	計画書作成		実施				評価
	★三師会合同研修会開催(年1回)		●							●
在宅医療コーディネーターの配置の検討							27年度以降の配置に向け検討			
軽減負担	在宅医療支援病床の運用と周知	WGで検討		HP掲載		WGで検討		広報掲載		WGで今後の方針を検討
	介護事業所のショートステイ受け入れ強化			空き状況など一覧表の作成		一覧表の完成		HPなどに掲載		
発普及啓	出前講座による普及啓発	WGで協議		実施						●
	ポスター掲示、チラシ配布、広報・HPなどで周知	チラシの在庫確認		HP掲載		広報掲載		緩和ケア祭りにポスター掲示		評価
	マスメディアの活用(CATV、新聞など)					新聞報道		CATV放映		



# ロードマップ 独創的な取り組み

平成25～26年度 事業スケジュール(★印は、他事業と連携)

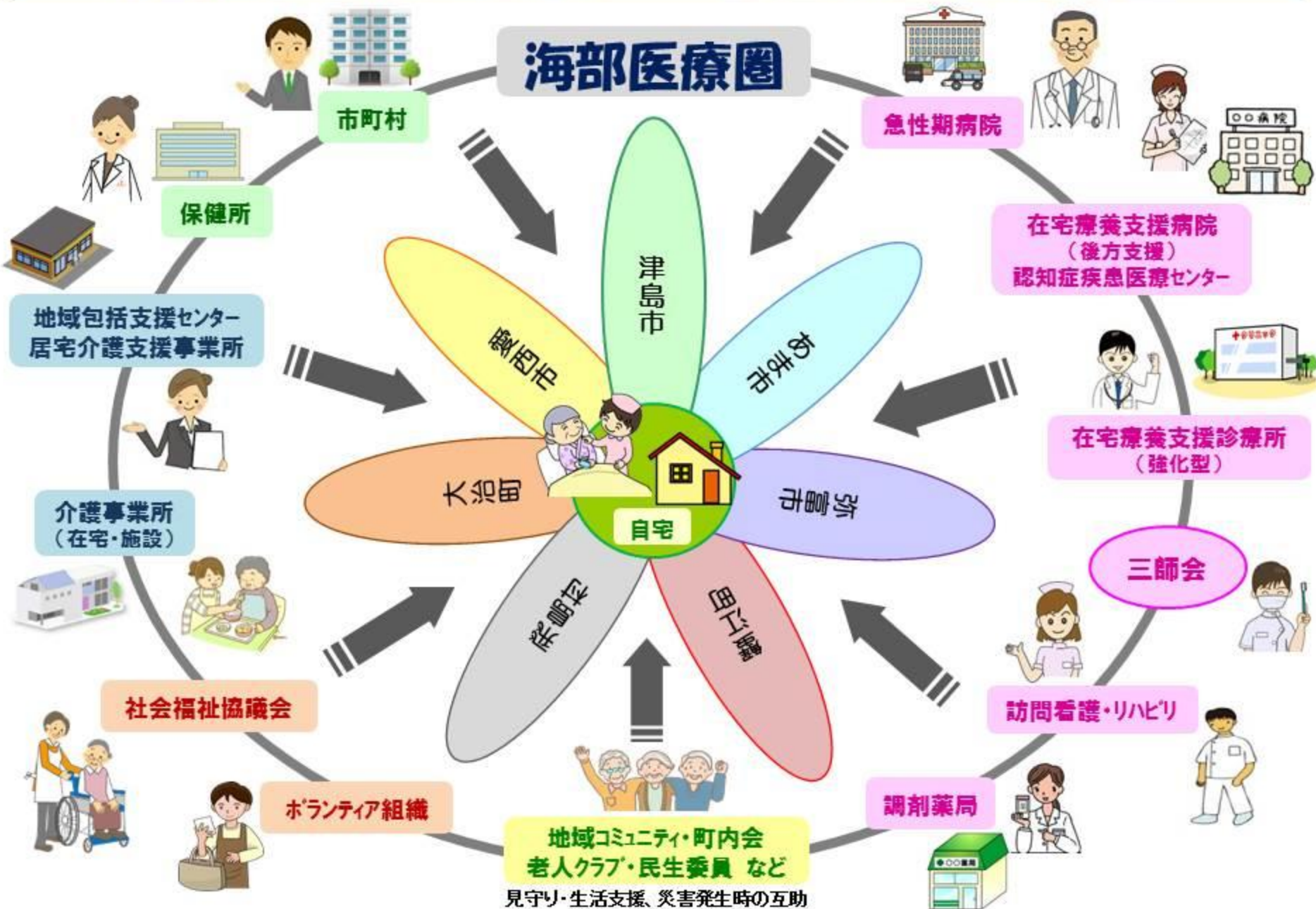
事業項目		平成25年度			平成26年度						
		第4四半期			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
		1月～3月			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月			
独創的な取り組み	★健康つしまプロジェクトチーム(毎月)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	海部津島地域包括ケア推進協議会設立の検討				関連会議で提案・検討		●	関連会議で提案・検討		●	
	つしま在宅療養手帳(仮)の運用 (緊急・災害時用)				内容の検討			運用の検討			
	薬局薬剤師と医療機関の連携				市民病院の勤務医に実施	介護事業所関係者に実施	かかりつけ医(内科・歯科)と薬剤師に実施				
	訪問看護ステーションとの連携 (顔の見える関係づくり)	訪問看護師を講師とした研修会の実施			訪問看護師を会議のメンバーに組み込む						
	高齢者あんしんガイドブック					内容の検討		作成		配布	
	認知症患者を地域で支える取り組み	★認知症対応病院モデル事業(市民病院)			地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議		
	地域住民の自発的活動への支援				地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議		
	地域で見守るボランティアの育成 (生活支援ボランティア)	★ワンコインサービス開始 (シルバー人材センター)			地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議	地域支え合いWGで協議		





# 津島市が目指す未来像

～地域包括ケアシステムの確立～





## 津島市 在宅医療連携拠点推進事業

### 担当窓口

津島市健康福祉部高齢介護課 長寿福祉グループ

担 当：福谷 (ふくや) ・岡本・則竹・山口

電話番号：0567-24-1111 内線2145

住 所：〒496-8686 津島市立込町2丁目21番地

アドレス：[kaigo@city.tsushima.lg.jp](mailto:kaigo@city.tsushima.lg.jp)

\*津島市公式ホームページにて活動内容を掲載しています